

# 手練

S H U R E N

第 20 号



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会



## 表紙

会報名の手練（しゅれん）とは、熟練した手わざのことです。これからも、常に我々が文化財等の日本の屋根を守っているのだとの心構えを忘れず、会報名に恥じないような技術者になっていただくことを願って命名しました。

# 目次

■文化財屋根葺士養成研修 第25期生 後期研修	2
■令和6年度 茅葺中級研修	5
■令和6年度 茅葺きフォーラム	6
■令和6年度 檜皮採取者(原皮師)中級研修	8
■令和6年度 檜皮採取視察会及び見学会	9
■令和6年度 檜皮採取審査会	12
■令和6年度 屋根板製作者養成研修	13
■主任文化財屋根葺士検定会 実施	14
■主任文化財屋根葺士認定証更新講習会 開催	14
■令和6年度 文化財研修会	15
■準会員 名簿	17
■あとがき	

# 文化財屋根葺士養成研修 第25期生 後期研修

期 間 ● 令和6年5月20日(月)～9月20日(金)  
場 所 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター  
宇佐神宮(大分県宇佐市南宇佐2859)  
石山寺(滋賀県大津市石山寺1-1-1) 他

令和6年度 文化財屋根葺士養成研修 第25期生の後期研修を末岡治人(株式会社小山社寺工業所)、友井康介(株式会社友井社寺)、平尾零(株式会社松村工務店)の3名にて行いました。

後期研修では卒業現場実習に使用する材料計算、材料整形をはじめ、模型や実際の保存修理現場での葺き実習、講義では実測及び製図の実習など、建築史演習では、講師の方の指導のもと滋賀県と京都市内の各所で2日間にわたり実施しました。模型の葺き実習では随分苦戦していましたが、材料整形は前期より手慣れた様子でやる事ができていました。

研修の集大成となる卒業現場実習は、石山寺様のご協力を得て8月26日(月)から9月19日(木)まで実施しました。自分たちで屋根の面積などを実測し、数量を出し、材料整形で揃えた材料で屋根を葺く、という初めて

の経験で、平葺のみならず<sup>やくどころ</sup>役所も担当させていただき、2年間にわたる研修の成果が出ていると感じました。短い研修期間の中で色々な事を勉強し、理解していくのは大変なことだと思いますが、研修で学んだ屋根葺士としての必要な知識と技術が少しずつ身に付いてきているのだと思います。

研修が終了したとはいえ、これで終わりではありません。あくまでスタート地点であり、屋根葺士として一人前になるために驕ることなく常に謙虚に技術と向き合っ  
てほしいと心から願います。

前期研修も含め、第25期の養成研修事業にお力添えをいただいた講師の方々、指導員の皆様、そして行政をはじめとした関係機関の皆様方に、紙面をお借りいたしまして厚く御礼申し上げます。今後ともご指導のほど、よろしく願いいたします。

## 材料整形



檜皮材料整形(京都市文化財建造物保存技術研修センター)



竹釘製作(兵庫県丹波市(南)石塚商店)



## 講 義



実測 (京都市文化財建造物保存技術研修センター)



製図 (京都市文化財建造物保存技術研修センター)

## 葺き実習



模型葺き実習 (京都市文化財建造物保存技術研修センター)



模型葺き実習 (京都市文化財建造物保存技術研修センター)



模型葺き実習 (京都市文化財建造物保存技術研修センター)



現場での葺き実習 (大分県宇佐市 宇佐神宮)

## 建築史演習



建築史演習 (滋賀県大津市 日吉大社)



建築史演習 (京都市 賀茂別雷神社)

## 卒業現場実習 [石山寺]



平葺



隅葺



軒付けの手斧(ちょんな)切り



実習 施工後



# 令和6年度 茅葺中級研修

期 間 ● 令和6年9月2日(月)～27日(金)  
令和7年1月20日(月)～25日(土)  
現 場 ● 茅葺／旧武石家住宅 味噌蔵  
(新潟県西蒲原郡弥彦村麓7056)  
茅刈り／大室山(静岡県伊東市)

令和6年度 茅葺中級研修は、新潟県西蒲原郡の旧武石家住宅 味噌蔵にて行いました。研修では、当会準会員 樋口 隆、藤原 優が指導にあたりました。研修生は大阪・山梨からの参加となりました。

## 旧武石家住宅 味噌蔵

講 師 ● 樋口 隆・藤原 優(株越乃かやぶき)  
研修生 ● 加々美 栄(伝匠舎(株)石川工務所)  
余宮 祥平(同大西茅葺)



屋根裏側にて藁縄の縛り付け



大バサミでの刈り込み

茅刈り研修では、当会正会員 大西 謙之、水野 暁彦がそれぞれ指導にあたりました。研修生は岐阜・栃木・新潟からの参加となりました。

地域の皆様にもご協力いただき、今年も良質な茅が採取できました。今後に向けてより多くの茅が採取できるように整備を行いました。



旧武石家住宅 味噌蔵 完成写真

## 大室山 茅刈り

講 師 ● 大西 謙之(同大西茅葺)  
水野 暁彦(株茅葺屋根保存協会)  
研修生 ● 小林 洋介(株茅葺屋根保存協会)  
八ッ橋 崇市郎(株越乃かやぶき)  
山口 成貴(田中社寺(株))



茅刈り

# 令和6年度 茅葺きフォーラム

期 日 ● 見学会／令和6年9月18日(水)  
協議会／令和6年9月19日(木)  
会 場 ● 旧武石家住宅 味噌蔵  
(新潟県西蒲原郡弥彦村麓7056)  
弥彦村役場 会議室  
(新潟県西蒲原郡弥彦村大字矢作402)

令和6年度中級技術研修の期間中に茅葺きフォーラムを開催いたしました。今回は、新潟県弥彦村の旧武石家住宅味噌蔵の屋根の葺き替えを行いました。弥彦村村長本間芳之様よりご挨拶をいただき、講師樋口隆の指導のもと、新潟特有の屋根の葺き方を教わる機会に恵まれました。

協議会では柏原路子様からご講義をいただきました。短い時間ではありましたが、旧武石家住宅の歴史など貴重な話を聞くことができました。

講師と研修生によるパネルディスカッションも行われ、新潟地方特有の茅葺屋根の特性や技術の解説なども行われました。



旧武石家住宅 味噌蔵 見学会

## 見学会 「旧武石家住宅 味噌蔵」

現場説明 ● 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会 講師 樋口隆

## 協議会 「弥彦村役場 会議室」

挨拶 ● 弥彦村 村長 本間芳之様

開会挨拶 ● 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会 会長 友井辰哉

講義 ● 弥彦村文化財保護審議会 委員 柏原路子様  
題目「旧武石家住宅の保存経過について」

討論会 ● 議題「新潟県の茅葺屋根の特徴と実技解説」  
進行者 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会 茅担当理事 長崎貴宣

総評 ● 文化庁 文化資源活用課 文化財調査官 稲垣智也様

閉会挨拶 ● 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会 副会長 河村雅史



# 協議会



弥彦村  
村長 本間 芳之様



協議会風景



弥彦村文化財保護審議会  
委員 柏原 路子様



文化庁 文化資源活用課  
文化財調査官 稲垣 智也様



協議会風景



総評風景



# 令和6年度 檜皮採取者(原皮師)中級研修

令和6年度の檜皮採取者(原皮師)中級研修を行いました。9月2日(月)の仏通寺山国有林(広島県)から始まり、賤母国有林(長野県)、千石谷市有林(大阪府)、権現山国有林(和歌山県)、栃本市有林(埼玉県)、明通寺民有林(福井県)、城山国有林(山口県)、鞍馬山国有林(京都府)にて全16クルの研修を行い、2月7日(金)に終了しました。

酷暑や極寒の中、険しい山の中での作業となりましたが、各クルのリーダーのもと、研修生たちは切磋琢磨し、貴重な檜皮資材の確保及び技術の研鑽に励んでいました。

本年度も研修林を提供していただきました皆様に感謝申し上げますとともに、今後ともご理解ご協力のほどよろしくお願い申し上げます。



檜皮の剥きあげ(権現山国有林)



ヘラ入れ(栃本市有林)



檜皮揃え(権現山国有林)



シャクを使った檜皮の切断(城山国有林)



檜皮の切断(明通寺民有林)



研修で採取できた丸皮の集積



# 令和6年度 檜皮採取視察会及び見学会

本年度も各地にて檜皮採取視察会及び見学会を行いました。檜皮採取の技法を見て、触れる場を提供し、日本の伝統技術を身近に感じてもらう取り組みとして原皮師を派遣し、長野県の林業大学の学生や南木曾町立南木曾小学校、小浜市立小浜美郷小学校の児童をお招きし見学会を行いました。また近畿中国森林管理局をはじめ木

曾森林管理署南木曾支署、広島森林管理署、京都大阪森林管理事務所の方々に原皮師の技術を視察していただきました。

今後も檜皮採取視察会及び見学会を通じて、伝統文化に触れていただく機会を提供し続けてまいります。

## 視 察 会

期 日 ● 令和6年9月3日(火)、令和7年1月16日(木)  
会 場 ● 仏通寺山国有林(広島県)、鞍馬山国有林(京都府)  
参加団体 ● 近畿中国森林管理局、広島森林管理署、京都大阪森林管理事務所

### ●仏通寺山国有林



原皮師の作業を視察する森林官



採取作業を行う原皮師



## ●鞍馬山国有林



「古事の森」について説明を受ける



原皮師を先導に採取場所へ向かう



大野指導員による説明



森林官による視察

## 見学会

期 日 ● 令和6年9月19日(木)、10月3日(木)、11月15日(金)

会 場 ● 賤母国有林(長野県)、明通寺(福井県)

参 加 者 ● 長野県林業大学校、南木曾町立南木曾小学校、小浜市立小浜美郷小学校

## ●長野県林業大学校



学生の視線を浴びながら檜皮採取作業に取り組む原皮師



見事な手捌きを真剣に見つめる





作業の様子をメモに取り記録に残す学生たち



大切り包丁を手に、檜皮の切断体験

---

### ●南木曾町立南木曾小学校



説明に耳を傾ける児童たち



原皮師の作業に児童たちの注目が集まる

---

### ●小浜市立小浜美郷小学校



剥きあげの様子に興味深く見つめる



児童のブリ縄体験



# 令和6年度 檜皮採取審査会

期 日 ● 令和6年12月19日(木)、20日(金)  
会 場 ● 鞍馬山国有林(京都府)

令和6年度 檜皮採取審査会を行いました。当審査会はDランク研修生の檜皮採取研修における日頃の成果を審査するとともに、技術の継承と理解向上を目的として本年度、初の試みとして執り行いました。

当日は、当保存会会長をはじめ理事、各事業主、指導員及びDランク研修生が参加し、総勢10名で行いました。

審査を受ける研修生は3名、審査員は指導員2名、理事2名の4名にて実施しました。審査日は少し雪も舞う寒さの中でスタートし、かなりの急斜面ではありましたが、研修生は厳しい環境にもめげずにひたむきに採取に取り組んでいました。各事業主の方も熱心に作業する研修生を見守っておりました。今後も檜皮採取技術の継承や資材確保に向け、取り組んでいきたいと思えます。



審査員が見つめる中、慎重に作業を進める研修生



集積した檜皮をワクに積み重ねる



結束後、大切り包丁で檜皮を切断



檜の外周を带状に剥きあげる



ブリ縄を使用しての檜皮採取



審査会での成果を前にして研修生と指導員



# 令和6年度 屋根板製作者養成研修

期 間 ● 令和6年9月24日(火)～10月4日(金)  
講 師 ● 嘉本 洋士(株式会社児島工務店)

屋根板製作選定保存技術の保存団体として、平成30年に認定を受けたことを契機に平成31年度より屋根板製作者養成研修を開始しました。今年度は研修生3名を対象に、株式会社児島工務店の協力のもと実施いたしました。

杉材を用いて主に平板(1.0尺×1.0分)の製作工程を実習し、原木の見分け方、材の取り方、木取り方法の基本など、実際に目で見ながら勉強し、熱心に作業を行っていました。屋根板製作にも地方性があり、前回とは違う割り方の作業なので戸惑っていましたが、最終日に近づく頃には、ずいぶん作業に慣れた様子でした。文化財建造物を保存していくうえで、良質な資材の確保が必要になってきます。研修生にはこの研修を通じて、屋根板

製作の大切さを理解し、スキルアップに繋げていただきたいと思います。

来年度以降も研修は続きます。この研修がいつまでも続くよう皆様のご理解とご協力をよろしくお願いいたします。



大割包丁と木づちを使ったみかん割り



木取りの説明をする講師



しっかり学び取ろうとする研修生



板へぎ作業をする研修生

# 主任文化財屋根葺士 検定会 実施

【第24回】● 令和6年10月7日(月)～12日(土) / 3名(茅葺師)

令和6年度 主任文化財屋根葺士検定会を開催いたしました。茅葺師2名と再受験者1名での計3名での実施となりました。熟練の技で問題なく屋根葺を終えましたが、それぞれの地方に応じた施工の違いが明確に現れた葺き上がりとなりました。各講師や外部検定員の皆様からは概ね好評価を得ていました。

総合での試験結果としては、再受験者を含めて全員合

【会場●山南ふるさと文化財の森センター】

格となりましたが、記載事項の基本的なところでの見落としや、注意事項で指摘した内容の見落としなどがあり、施工責任者として活躍していかれる合格者には今一度見直しをしてもらい、認識してほしいという部分が見受けられました。こう言った点に注意していただき、今後ご活躍されることを期待します。



実技試験に挑む受験者



葺かれた屋根をチェックする検定員

## 主任文化財屋根葺士 認定証 更新講習会 開催

日時 ● 令和6年11月22日(金) 10:00～12:00  
会場 ● 京都市文化財建造物保存技術研修センター

今回の更新講習会では、講師の京都女子大学 鶴岡典慶様から檜皮葺の屋根において注意しなければならない点について、厳しい意見を頂戴しました。我々屋根葺き従事者として、指摘を受けた内容についての意識を高く持ち、仕上がりに、特に仮設が撤去されてからの見え方まで注意して施工していかなければならないと、襟を正す気持ちになりました。



鶴岡典慶講師の講習風景

# 令和6年度 文化財研修会

日時 ● 令和6年11月29日(金) 13:00~15:30  
会場 ● 鹿島神宮  
(茨城県鹿嶋市宮中 2306-1)

令和6年度文化財研修会を行いました。鹿島神宮での回廊・楼門改修工事の現場見学と鹿島神宮文化研究所の所長である大津 忠男様による講演、工事担当の文化財建造物保存技術協会 酒巻 仁一様による修理概要の説明をしていただきました。今回も全国から正・準会員約30名の参加がありました。

鹿島神宮は、日本全国に約600社ある鹿島神社の総本社であり、伊勢神宮・香取神宮と並び近代まで「神宮」と呼ばれていた由緒と歴史のある神社です。今回はそのような場所で、まず始めに大津忠男様から「全国に広がる鹿島信仰」についての講演を聞きました。神話の時代の数々の逸話から始まり、現代にいたるまでの鹿島神宮の歴史と信仰について、また実際に自らが地方で体験した、正に全国に広がる鹿島信仰が根づいた地域での新たな発見の話など、多岐にわたる非常に興味深い内容でした。

続いて、酒巻 仁一様から回廊・楼門保存修理工事の「修理概要説明」を受けました。我々が携わる屋根と違い銅板葺

の建物であることから、今までとは違う視点で学ぶことができました。その後、修理現場の見学を行いました。

短い時間であり、また遠方からの移動も含めたタイトなスケジュールであったにもかかわらず、皆様のご協力のもと無事研修会を終えることができ、非常に感謝しています。

ご協力くださった鹿島神宮の方々、講師の大津様、酒巻様、参加者の皆様には今年もこのような研修会を行うことができたことに心から御礼申し上げます。誠にありがとうございました。



鹿島神宮 境内

## 研修会 「第17回文化財を支える技術2024 in 鹿島神宮」

- 開会挨拶 ● 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会 会長 友井 辰哉
- 講義 ● 鹿島神宮文化研究所 所長 大津 忠男 様  
題目「全国に広がる鹿島信仰」
- 概要説明 ● 公益財団法人 文化財建造物保存技術協会 酒巻 仁一 様  
「修理概要説明」
- 閉会挨拶 ● 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会 副会長 河村 雅史

## 見学会 「鹿島神宮 回廊・楼門保存修理工事現場」



## 研修会



講義風景

## 見学会



修理現場の見学をする参加者



## ■ 準会員

No.	氏名	職 種
1	青木 照幸	檜皮葺
2	青山 亨	檜皮葺・柿葺
3	朝野 達也	檜皮葺・柿葺
4	芦田 健太	檜皮葺・柿葺
5	蘆田 祐明	檜皮葺・柿葺
6	足立 健一	檜皮葺・柿葺
7	足立 大茂	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
8	安部 悟司	柿葺 屋根板製作
9	飯野 映稚	檜皮葺・柿葺
10	石井 潤	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
11	石川 和重	管理
12	石塚 健一	竹釘製作
13	市原 健	檜皮葺・柿葺
14	一色 律男	檜皮葺・柿葺
15	伊藤 貴弘	檜皮葺・柿葺
16	伊藤 延行	檜皮葺・柿葺
17	井上 裕貴	檜皮採取
18	居原田 浩樹	檜皮葺・柿葺
19	入江 匠	檜皮葺・柿葺
20	岩崎 正	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
21	大石 薫利	檜皮葺・柿葺
22	大西 康純	茅葺
23	大野 隼矢	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
24	緒方 伸也	檜皮葺
25	岡野 史和	檜皮葺・柿葺
26	奥田 治郎	檜皮葺・柿葺
27	奥田 正博	檜皮葺・柿葺
28	尾崎 良助	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
29	加々美 栄	茅葺
30	方山 和也	檜皮葺・柿葺
31	勝部 哲也	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
32	金沢 翔太	茅葺
33	包國 真匠	檜皮葺・柿葺
34	金子 英生	檜皮葺・柿葺
35	亀谷 芳弘	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
36	嘉本 洋士	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
37	川瀬 皆人	檜皮葺・柿葺
38	河野 修二郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
39	菊池 保	茅葺
40	岸 斗萌	檜皮葺・柿葺
41	岸田 智太郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
42	岸田 直彦	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
43	吉川 圭一	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
44	吉川 晋二	柿葺 屋根板製作
45	木戸 智裕	屋根板製作
46	木下 和也	檜皮葺・柿葺
47	木下 真介	檜皮葺・柿葺
48	木村 健太	檜皮葺・柿葺
49	清田 幸臣	檜皮葺・柿葺
50	栗山 弘忠	屋根板製作

No.	氏名	職 種
51	小池 一平	檜皮葺・柿葺
52	古田島 進	管理
53	後藤 哲夫	檜皮採取
54	小西 康介	檜皮葺・柿葺
55	小西 繁信	檜皮葺・柿葺
56	小林 洋介	茅葺
57	小原 一樹	檜皮葺・柿葺
58	近藤 竜太	檜皮採取
59	寒河江 清人	檜皮葺・柿葺
60	佐々木 綾子	檜皮葺
61	佐々木 孝則	茅葺
62	佐藤 偉仁	茅葺
63	猿橋 成博	茅葺
64	澤田 昌己	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
65	品川 琉心	檜皮葺・柿葺
66	島田 伊織	茅葺
67	下村 眞士	檜皮葺・柿葺
68	末岡 治人	檜皮葺・柿葺
69	須賀 均	檜皮葺 檜皮採取
70	須賀 将志	檜皮葺・柿葺
71	杉谷 功	檜皮葺・柿葺
72	鈴木 礼央	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
73	高木 諒	屋根板製作
74	高平 勝也	檜皮葺・柿葺
75	竹森 暢哉	檜皮葺・柿葺
76	立木 覚士	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
77	田中 智紗衣	管理
78	田中 智也	管理
79	寺田 美乃里	檜皮葺・柿葺
80	富樫 忠義	茅葺
81	戸梶 憲幸	檜皮葺・柿葺
82	友井 康介	檜皮葺・柿葺
83	中島 信	茅葺
84	永瀬 慶祐	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
85	中西 純一	茅葺
86	中西 祥也	檜皮葺・柿葺
87	永原 光敬	檜皮葺・柿葺 屋根板製作
88	中村 裕司	檜皮葺・柿葺
89	新津 侑樹	茅葺
90	西 裕之	檜皮葺・柿葺
91	西堀 大樹	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
92	西村 聡央	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
93	西村 信生	檜皮葺・柿葺
94	野谷 嘉邦	檜皮葺・柿葺
95	BAATARSUREN BAT ERDENE	茅葺
96	橋本 浩太郎	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
97	東 友一	檜皮葺・柿葺
98	樋口 隆	茅葺
99	檜 篤広	檜皮葺・柿葺
100	平 尾 零	檜皮葺・柿葺



[五十音順]

No.	氏 名	職 種
101	平田 将大	檜皮葺・柿葺
102	平野 健太郎	檜皮葺・柿葺
103	平野 裕也	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
104	廣内 翔	檜皮葺・柿葺
105	深本 英昭	檜皮葺・柿葺
106	福岡 亮太	檜皮採取
107	福留 巧稀	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
108	藤中 竜也	檜皮葺・柿葺
109	藤原 諒	檜皮葺・柿葺
110	藤原 優	茅 葺
111	渕上 大輔	檜皮葺・柿葺
112	古川 友喜	檜皮葺・柿葺
113	細見 知憲	檜皮葺・柿葺
114	細見 裕	檜皮葺・柿葺
115	堀内 博樹	檜皮葺・柿葺
116	本多 亮貴	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
117	毎熊 徳満	檜皮葺
118	榎原 孝宜	檜皮葺・柿葺
119	松田 哲也	檜皮葺・柿葺 茅葺
120	松村 省弥	檜皮葺・柿葺
121	松村 純孝	檜皮葺・柿葺
122	松村 有記	檜皮葺・柿葺
123	三上 昭信	茅 葺
124	道繁 康	檜皮葺・柿葺
125	三ツ出 俊平	檜皮葺・柿葺
126	緑川 幹雄	檜皮葺・柿葺
127	峰地 幹太	檜皮葺・柿葺
128	宮川 義史	檜皮葺・柿葺
129	宮西 寛	檜皮葺
130	向田 学	檜皮葺・柿葺
131	村岡 伸康	檜皮葺 檜皮採取
132	村上 章浩	檜皮葺・柿葺
133	森山 淳希	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
134	八ッ橋 崇市郎	茅 葺
135	矢野 友則	檜皮葺・柿葺
136	山口 成貴	檜皮葺・柿葺 茅葺
137	山口 宗平	檜皮葺・柿葺
138	吉竹 秀紀	檜皮採取
139	余宮 祥平	茅 葺
140	和田 琢男	檜皮葺・柿葺 檜皮採取
141	渡部 雄太	檜皮葺・柿葺

(2024.5.15現在)

京都市東山区清水二丁目 205-5  
京都市文化財建造物保存技術研修センター内



公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会

TEL 075-541-7727 FAX 075-532-4064  
<https://shajiyane-japan.orgg>

手  
練

第 20 号

令和 6 年度 掲載

## あ と が き


インバウンド需要の回復に伴い、文化財を観光資源として活用する動きが活発化しています。歴史的な建造物を活用した宿泊施設やレストラン、体験型ツアーなどが登場し、文化財の新たな魅力を発信しています。これらの取り組みは、文化財の保護と地域の活性化を両立させるものとして期待されています。文化財建造物は私たちの歴史や文化を伝える貴重な遺産です。これらの建造物を未来に継承していくために、私たち保存会も屋根工事技術の継承に向けて今後も取り組んでいきたいと思ひます。



# 手練

S H U R E N

## 第 20 号

 公益社団法人 全国社寺等屋根工事技術保存会